

長野県ものづくり産業振興戦略プランの取組状況について

目標値の達成状況

本プランの総括的な目標値
2020年における
「製造業の従業員一人当たり付加価値額」
→ 1,260万円



「製造業の従業員一人当たり付加価値額」
2015年 1,117万円 → 2019年 1,076万円
(工業統計調査速報値/2021年3月発表)
従業員数: 2015年 188,720人 → 2019年 202,007人
付加価値額: 2015年 2兆 1,083億円 → 2019年 2兆 1,734億円

取組状況

I 産業イノベーションの創出活動促進のための重点施策（9施策）

1 産業イノベーション創出研究開発支援 ～研究開発プロジェクトの多数組成と事業化の成功確率の向上～

研究開発成果の事業化を目的に、県内企業や大学などの優れた技術について競争優位性の検証、用途展開可能性の探索、事業化戦略の策定を支援するとともに、県テクノ財団による一貫支援も実施。

- 【実績】・産業イノベーションにつながりうる有望な研究開発に対し助成等により支援（12件）
・県テクノ財団の支援による国プロジェクト（サポイン等）の獲得（2件）

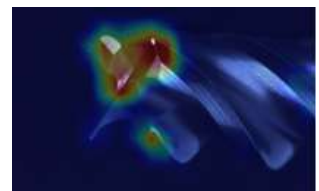
今後の取組

- ・テクノ財団と中小企業振興センターの統合により、一貫支援体制を強化
- ・「目利き集団」と県内企業、大学等との連携を促進し、技術開発支援を強化

2 AI・IoT等先端技術活用型新事業創出支援 ～ビッグデータを活用した新ビジネスの創出に貢献～

AI活用/IoTデバイス事業化・開発センターの専門人材により、IoT技術を活用したデバイス開発などの一貫支援を展開。また、工業技術総合センターが支援機関、IT専門家等と協働し、製造業等の生産現場等のDX化を支援。

- 【実績】・サービスや健康・医療分野等へIoT技術を活用する研究開発プロジェクトの立ち上げ及び継続支援（11件）
・生産現場のDX実装に向けた導入実証や本格実装を支援（11件）



▲AI 深層学習によるドリル刃先
摩耗・不良個所の可視化

今後の取組

- ・現在支援をしているプロジェクトの早期事業化に向けた取組を実施
- ・DX実装に取り組む企業の成果を公表し、県内企業のさらなる研究開発を促進

3 課題解決型企業群形成支援 ～先端技術の導入と基盤技術の強化による提案力の向上～

県内下請型・受託加工型企业がこれまで蓄積した研究開発経験を活かし、川下産業の課題を解決できる企業へ着実に成長できるよう、自社技術の強化や他の基盤技術の習得等を支援。

- 【実績】・県内下請型企业の課題解決力を強化する研究会の開催（8研究会）
・研究会における共同研究の実施（14件）



▲工具の内部構造最適化により
防振性能を向上

今後の取組

- ・支援先企業の強みとなる優位な技術の把握と川下企業への技術提案支援
- ・支援先企業の自社技術を核とした課題解決のための技術開発への支援

4 地域資源活用支援 ～地域資源を活用した高付加価値製品の創造～

地域資源製品開発支援センターやしあわせ信州食品開発センターなどによる、高品質な原材料の開発、製造技術向上、感性価値を高めるデザインの提案などの支援を実施。

- 【実績】**・1,523 件の相談に対し 217 件の支援を実施
(うち 39 件の商品化に成功)
・県内酒蔵の国際コンクールへの出品支援 (5 件)



▲新型コロナウイルスの影響で土産物店での販売が激減していた新そばを家庭向けに商品化

今後の取組

- ・特色のある地域資源を活用した製品開発を企画から販路開拓まで一貫して支援
- ・伝統的工芸品産業の新商品開発にも注力

5 マーケティング力強化支援 ～有望分野・市場の把握及び販路開拓支援～

中小企業が取り組む有望市場への販路開拓を支援するため、国内外展示会への出展機会の提供や技術提案型商談会等を開催。

- 【実績】**・工業製品に係る国内外展示会・商談会等への出展支援(9回、成約件数13件)
・加工食品に係る国内外見本市・展示会等への出展支援(6回、成約件数9件)
・加工食品に係る独自商談会の開催(8回、成約件数41件)

今後の取組

- ・WEB 商談会に加え、工業製品については、新たにマッチング機能等を有する WEB サイトを構築
- ・加工食品については、WEB 商談と対面商談と組み合わせて実施することで販路開拓を支援

6 産業人材育成支援 ～長野県産業の「稼ぐ力」を創出する人材の育成・確保を進めるため、

切れ目のない支援を目指す～

次世代のものづくり産業を担う人材の確保・育成を図るため、キャリア教育を推進。また、県内ものづくり産業の技術力の向上、若手技術者の育成を図るため、在職者向けの講座の開催。

- 【実績】**・信州・未来のひとづくり塾の開催 (93 講座開講)
・スキルアップ講座の開催 (120 講座開講)



▲信州・未来のひとづくり塾

今後の取組

- ・中学生を主な対象に企業経営者等が地域の未来を見据え自分の仕事・企業の魅力を紹介する講座の実施
- ・令和4年度スキルアップ講座の開講

7 産業人材確保支援 ～理工系学生や専門人材を対象とした取組～

新規卒者の県内就職促進や働き方改革の推進による人材の定着を目的とした事業を展開。

- 【実績】**・WEB とリアルによる「インターンシップフェア」の開催
・アドバイザーの企業訪問による多様な働き方制度導入促進 (2,640 社)
・ガイドブック作成等によるテレワーク導入支援



▲テレワーク導入ガイドブック

今後の取組

- ・オンライン企業セミナーやインターンシップフェアによる県内企業の魅力発信
- ・新「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証企業の情報発信を強化 など

8 起業・スタートアップ支援 ～日本一創業しやすい県づくりの推進～

イノベティブな創業を促進するため、情報の一元化やマッチング支援、創業支援拠点の整備による新たなビジネス創造支援等を実施。

- 【実績】・「信州スタートアップステーション」を開設し、専門コーディネータによる相談対応やセミナーを実施（相談延べ 419 件、セミナー20 回）
- ・スタートアップ期の事業者を対象に、直面する課題を解決し成長を加速するための支援（アクセラレーション事業）を実施（5 者を支援）



▲信州スタートアップステーション matsumoto

今後の取組

- ・松本市に加え、新たに長野市にも創業支援拠点を開設し県内全域における創業支援体制を構築
- ・創業支援拠点を核として、様々な支援施策を有機的に繋げなげること、一体的な支援を実施

9 産業集積及び投資促進 ～長野県の強みを活かした企業誘致・雇用創出～

企業誘致や県内企業の成長期待分野等への参入に向けた投資促進への取組、助成制度や税制優遇、融資、販路開拓などの総合的な支援を実施。

- 【実績】・工場・研究所の立地（20 件）、本社機能の移転・拡充に伴う事業認定（2 件）
- ・コロナ禍で地方回帰が注目されている中、WEB サイトの更新や PR 動画の作成、漫画キャラクターを活用した PR 等を実施

今後の取組

- ・地域の課題に即した企業の呼び込みによる地域と県外企業のマッチング促進
- ・地方回帰の流れを活かし、国・県等の優遇制度を活用した本社機能の移転等促進

6プロジェクト
を抜粋

II 産業イノベーション創成型プロジェクト（16プロジェクト）

健康・医療分野

1 プレメディカルケア産業の集積形成

佐久地域において、プレメディカルケア（病気の予防、早期発見、健康増進）に関する産業の創出と集積形成を目指し、ワーキンググループ会議の開催や個別プロジェクトの試作開発支援等を実施

- 【実績】・医療現場のニーズ調査等を行う会議を開催（5 回）
- ・プレメディカル機器の試作開発や専門家による評価・助言を実施（継続 6 件、新規 6 件）

今後の取組

- ・ワークショップの継続的な実施
- ・個別プロジェクトの立ち上げ（具体的な製品開発や事業化の支援）

2 材料・精密技術等の融合による健康・医療機器関連産業の集積形成

県内企業の精密加工技術や信州大学の材料技術を活かした健康・医療機器関連産業の集積形成を推進。

- 【実績】・「信州医療機器事業化開発センター」による医療機器開発支援マッチング支援等（8 件）、薬事承認等に係る相談支援（10 件）
- ・「信州メディカルデバイスグローバル展開センター」による販路開拓支援グローバル展開企業への技術提案等（8 件、16 社参加）



▲核酸抽出機一体型 PCR 検査機の開発

今後の取組

- ・事業化を促進する支援体制の強化と開発プレイヤーの増加に向けた人材育成の場の構築
- ・医療機器開発等に取り組む実務者等により、支援施策の進捗管理や改善、今後必要な施策について議論

6 健康増進と経済活性化に寄与する食品関連製造業の集積形成

南信州の特徴的な食品を活用した健康増進や高齢者介護、地域経済活性化に向けた取組として、食品分析評価や商品開発支援等を実施。

【実績】・飯田メディカルバイオクラスター食品系分科会によるシンポジウムを開催（2回、延べ156名参加）

- ・腸内環境を整え健康増進に有効なルミナコイドに関する勉強会を開催
- ・商品化に向けた企画デザイン等の個別支援（5者）



▲支援を行った新商品
月見堂「豆を楽しむ甘納豆」

今後の取組

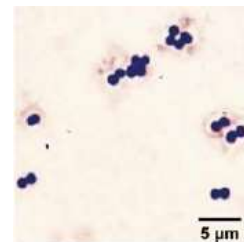
- ・健康増進に寄与する新商品開発に対する支援の実施、企画デザイン等の個別支援の実施
- ・エス・バードでの研究機関による食品の分析評価支援の実施 など

11 地域資源を活用した発酵食品・機能性食品産業の集積形成

醸造蔵に存在している多くの地域遺伝資源（発酵微生物等）や豊富な果物等の地域資源を活用した発酵食品・機能性食品産業の集積形成を目指し、地域の醸造蔵の「菌」を活用した商品化に向けた取組を開始。

【実績】・科学的解明により発見された有用菌について信州大学が特許出願

- ・発見された有用菌を活用した機能性食品の商品化に向けて試作検証を開始



▲発見された有用菌

今後の取組

- ・有用菌の科学的解明と有用菌を活用した企業グループによる味噌等食品の試作検証
- ・普及PRや商品化ニーズの探索のための展示会出展 など

環境・エネルギー分野

14 ゼロエミッション生産技術による環境調和型産業の集積形成

ゼロエミッション生産技術により、環境先進県長野を具現化する環境調和型産業の集積形成を目指すため、工業技術総合センターによる企業支援の実施や研究会を開催。

【実績】・AI活用/IoTデバイス事業化・開発センターにおいて、技術普及や利用促進を図るため、特別講演会や省エネ実習を実施（延べ308名）

- ・研究会会員へ生産状況の見える化や工程改善の支援を実施（5社）



▲省エネ実習

今後の取組

- ・AI活用/IoTデバイス事業化・開発センターの研究開発拠点としての利用促進
- ・生産現場におけるIoT技術の普及促進

次世代交通

16 航空機システム産業の集積形成

航空機システム関連の企業や研究開発支援機能が集積する「アジアの航空機システム拠点」の形成を実現するため、航空機システムに関する開発支援機能の強化や参入促進支援を実施。

【実績】・航空機産業を取り巻く環境変化を踏まえた対応方針を策定

- ・航空機システム共同研究講座による高度人材育成（修了生3名）
- ・県外展示会への出展支援（5社）
- ・参入機運を醸成するための航空機システム研究会の開催（2回、69社）



▲エンジンフォーラム神戸への出展支援

今後の取組

- ・航空機部品を製造する生産設備等を活かし新たな販路開拓等に取り組む企業を支援
- ・航空機システム関連企業等が一堂に会するシンポジウムを開催
- ・世界的な航空機の電動化の潮流に対応するため、航空機システム電動化プロジェクトを実施